

Acrelec Group S.A.S.の 株式取得（子会社化）について

グローリー株式会社
2020年1月31日

本件の目的

GLORY



ACRELEC

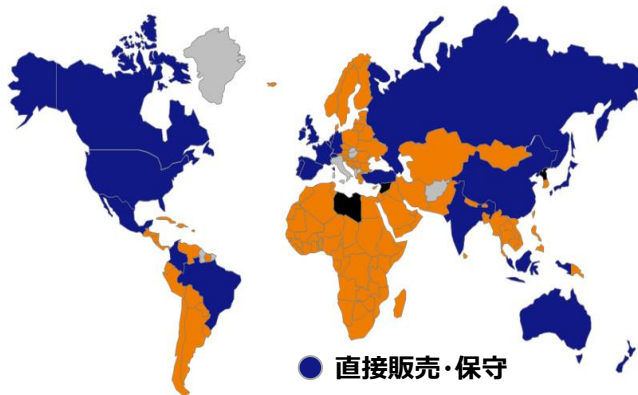
<目的>

- 通貨処理機の販売/保守だけにとどまらず、社会の自動化を推進
- 海外市場にキオスク分野を加えることによる販売拡大
- セルフサービスキオスク、セルフチェックアウトシステムなどを組み合わせることにより新たなソリューションの実現
- アクレックが保有するビジネスインテリジェンス(データ収集、分析力など)を活用し、さらなるユーザーエクスペリエンスの向上を図る

<目的>

- グローリーの販売網と保守網を活用し、さらなる販売拡大を目指す
- セルフチェックアウトシステムの拡大に向けた最適なパートナー
- アクレックの日本市場への参入サポート
- 規模の拡大によるコスト競争力及びオペレーションの改善

GLORY : 100ヶ国以上の販売実績



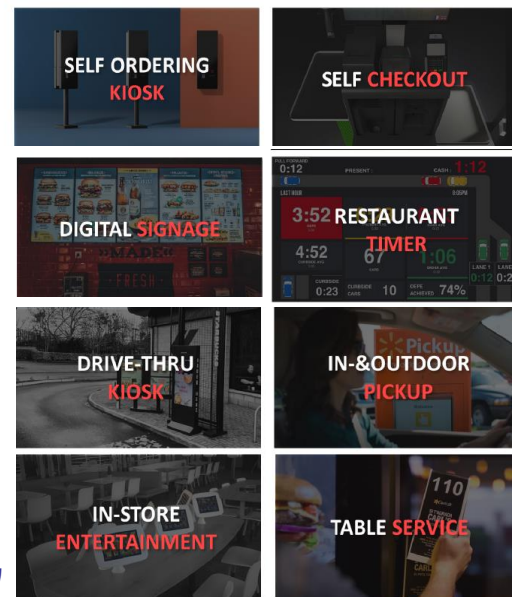
- 直接販売・保守
- 販売・保守代理店


世界に展開する
サービス体制



紙幣・硬貨入出金機

セルフサービスキオスク



海外リテール市場の事業環境とキオスク市場

海外リテール市場の事業環境

- 先進国を中心に人件費が高騰。省人化ニーズの高まり
- 支払(決済)業務の効率化ニーズの高まり
- 販売データを活用した新たなビジネスの展開ニーズの高まり

セルフサービスキオスクとは？

- ・セルフサービスキオスクは、自立型、双方向、支援不要のマルチメディアシステムのことを言い、情報提供や取引処理に用いられる。
- ・キオスクシステムは、対人操作のインターフェース機器、コントロールソフトウェア（ローカルおよび遠隔）、支払いシステム及び外部システムとの接続等から構成される。

セルフサービスキオスク市場見通し

◆市場成長性

人件費の高騰や人手不足対応を背景に、ファストフードやスーパー等において急成長しており、3つの調査会社から得られたアメリカや欧州などの先進国を中心とする**今後5年間における予測成長率の平均は14%以上である。**

◆業務効率化ニーズの高まり

多様な決済手段の対応やモバイルオーダーシステムなどの導入による**省人化や省力化ニーズが先進国を中心に高まっている。**

◆販売データを活用した新たなビジネス展開ニーズの高まり

セルフサービスキオスクに搭載されるAI（人口知能）等の活用により、利用者に**最適なカスタマーエクスペリエンスを提供することが可能となり、セルフサービスキオスクの導入店舗の売上拡大が期待できる。**



Acrelec Group S.A.S.概要

会社概要

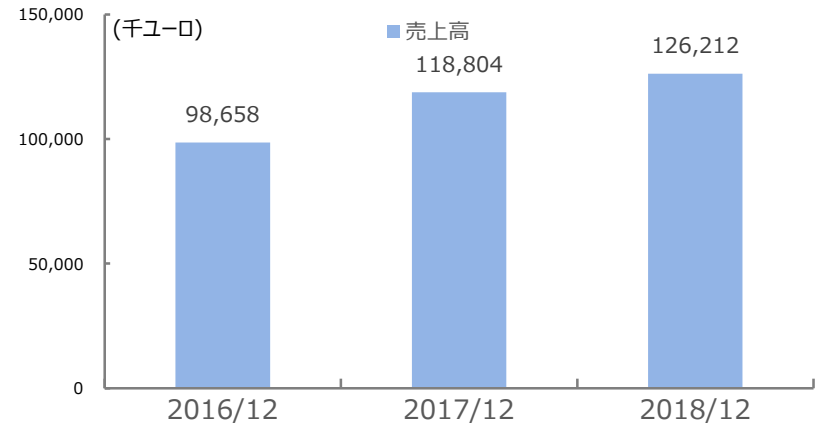
| | |
|--------|------------------------------------|
| 企業名 | Acrelec Group S.A.S. |
| 本社所在地 | フランス |
| 代表者・役職 | CEO Jacques Mangeot, Jalel Souissi |
| 事業内容 | セルフサービスキオスク機器の開発・製造・販売・保守 |
| 資本金 | 84,938千ユーロ |
| 設立年月日 | 2016年6月 |
| 従業員数 | 800人 |

拠点

世界19ヶ国に拠点があり、80ヶ国以上の販売実績あり



業績推移



顧客

※アクレレック社のWebサイトより引用



Acrelec Group S.A.S.の強み

1. セルフサービスキオスクにおける業界のリーダー

- ・世界に40,000台以上に導入
- ・世界的に認知されたブランド
- ・セルフサービスソフトウェアのマーケットリーダー

2. 強固な顧客基盤

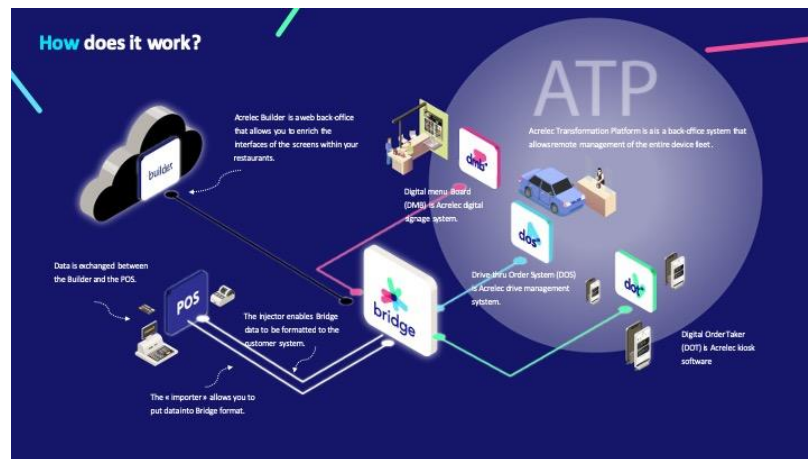
- ・世界80ヶ国への販売実績
- ・主要な顧客：マクドナルド、KFC、バーガーキングなど

3. グローバル ターンキー ソリューション

- ・開発、製造、販売、保守の一貫体制
- ・スピーディーに顧客ニーズに対応できるグループ運営

4. 迅速なソフトウェア開発

- ・100名を超えるソフトウェアエンジニアを保有
- ・市場競争力のあるアプリケーション開発やマネジメントソリューションを保有

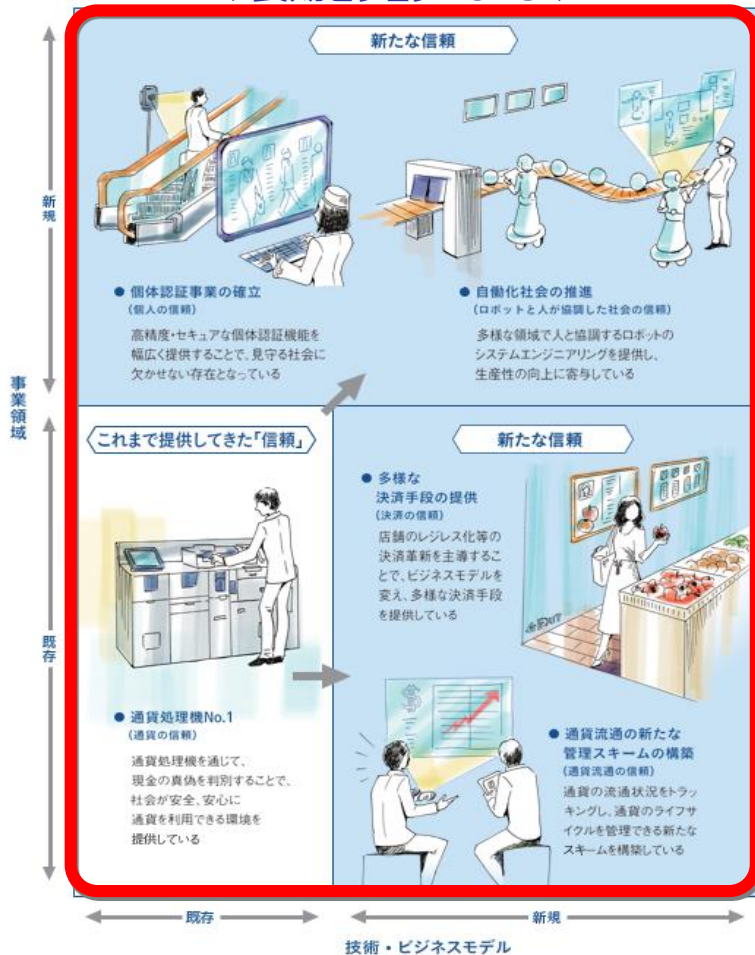


期待されるシナジー効果

「長期ビジョン2028」実現に向けた新事業領域の拡大

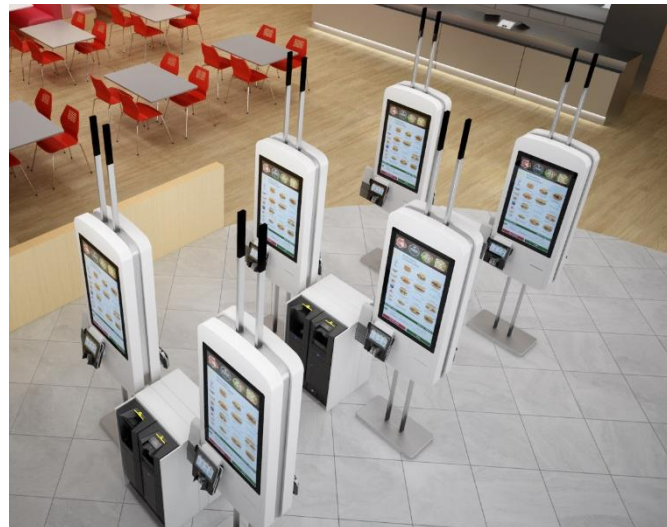
～期待を超えるスピードでの「市場・顧客ニーズの創出」、「製品・サービスのタイムリーな提供」の実現～

◆長期ビジョン2028◆



◆期待されるシナジー効果◆

- アクレックとグローリーの販路を活用したキオスクおよび通貨処理機の販売拡大
- キオスク設計ノウハウと通貨処理技術の融合による新たな顧客価値の創造
- 店舗管理プラットフォームの活用による新たなサービスの実現



※赤枠：期待されるシナジー効果の領域

取得株式数、取得価額

取得株式数

75,500,034株
発行済株式総数に対する割合：80%

取得予定価額

202百万ユーロ（約242億円）

(注)1ユーロ120円で換算

取得価額は、株式取得の対価に加え、ネット有利子負債の額を含みます。
また、取得価額は株式譲渡契約に定める価格調整を実施し、金額が変動する可能性があります。

株式売買 契約締結日

未定（関係法令上の手続の完了後）

株式引渡日

未定（関係各国の規制法令上の認可等の取得後）

実行の 前提条件

**アクレック社の株主による応諾及び株式売買
契約締結の完了ならびに関係法令上の認可等**